

マリー・ヴォディッカ (博士)

Marie A. Vodicka (PhD)

マリー・ヴォディッカ博士は、米国研究製薬工業協会（PhRMA）でバイオ医薬品およびバイオテクノロジー分野を統括する科学および薬事規制担当副理事補佐を務めている。

前職は、米国国務省 東アジア・太平洋局の経済政策・APEC 担当官。

アマースト大学にて生物学の学士号（準最優等）を取得後、カルフォルニア大学バークレー校で分子細胞生物学の博士号を取得。国務省入省前は、フレッド・ハッチンソン癌研究センター（シアトル）の博士研究員として、HIVと宿主細胞の相互作用に関する研究プログラムを実施。

政策分野に転身するまで、論文審査のある国際的学術専門誌に論文を発表するとともに、国立アレルギー感染症研究所／フェローシップ（一般個人研究）、白血病リンパ腫学会／特別フェロー、ジェームズ・ペンドルトン／AIDS フェロー、エイズ研究センター／新研究者賞など、数多くの助成金、フェローシップ賞を受賞している。

(2008年9月18日現在)